

今年度もいよいよ後半です。運動会、文化祭といった大きな行事を終えて、10月は学級が大きく成長していくチャンスです。また、落ち着いた環境の中で、学級の中で学習に向かう意識を高め合える時期でもあります。改めて、学級の児童生徒の理解に努めるとともに、年度当初に思い描いた「目指す学級の姿」と現在の姿を比べながら、後半の学級づくりへの見通しをもちたいものです。



### <小学校>

#### 学級づくりの工夫

～ コミュニケーション活動について考える ～

授業や学校生活において、子どもたちが「安心して」コミュニケーション活動を行うためには、どのようなことを意識すればよいのでしょうか？

子どもたち自らが考えてみるために、まずは、クラスで話し合ってみませんか？

◆みんなが「安心して」話し合いをするために（例）

- 意見を出し合うときには、話す順番を守る。
- 発言するときには、乱暴な言葉を使わない。
- 人が話をしているときには、邪魔をしない。
- まずは、人の意見を否定せず一度受け入れる。
- 人の発言や失敗を冷やかさない。

※コミュニケーション活動に対して「苦手意識」をもっている子どもへの配慮も大切にしましょう。

※先生方の子どもに対する日常的な関わり方が、子どもたちへの一番のお手本です。

- 教職員全員が意識していますか？
- 教職員全員が手本を示していますか？



#### 個人の意欲を持続させるための 家庭学習の工夫

家庭学習で忘れていけないのは、個人の意欲。家庭学習を毎日やっているけれど、同じものばかりで個人の意欲につながっていない、そんなことはありませんか。まずは、全員共通で取り組むものと、課題別に取り組むものに分けてみましょう。例えば…

##### ★全員共通

授業とリンクした課題  
音読、計算、ドリル、試写 など

##### ★課題別

自分でテーマを決めてインタビュー  
新聞のまとめと自分の考え、作文のタネ集め、表現を使って詩を作る、授業のまとめ など

これらを組み合わせることで、目的がはっきりし、個の意欲を高めることが期待できます。家庭学習の工夫をし、意欲的に力を付けていけるものにしていきましょう。



### <中学校>

#### 同僚の先生からもヒントを

教室環境は、学級づくりにおいて大きな役割を担っており、朝、夕にと教室環境を整えている先生方も多いことでしょう。自分のアイデアを大事にしつつ、隣のクラスや他の学年のクラスなど、学級づくりのヒントとなる教室環境づくりについて対話を深めてみましょう。

##### 1 環境構成する背景を聞いてみる

まず、そのクラスの担任の先生に、その教室環境が子どもに与えるであろう影響について、理由を聞いてみましょう。

##### 2 アレンジしてみる

自分の教室環境に取り入れることができそうなら、自分のクラスの子どもたちに合わせてアレンジしてみましょう。

##### 3 他の先生方と話題にする

アレンジして取り入れた教室環境について、学年会などで話題にして、さらなる改善を楽しみましょう。



#### 互いの取組に学ぶテスト勉強の工夫

テストに備えて、悩みを抱えながら過ごしている生徒は多いと思います。一度、グループなどで、悩みを出し合い、その悩みを整理して、解決するための具体的な取組を自己決定するような活動を取り入れてみませんか。

##### ◎テスト前の家庭学習の悩みを打ち明けよう。

・「立てた計画の半分も終わらない」「すぐ眠くなってしまって学習が進まない」など、個々の生徒がもっている悩みを出し合いましょう。

##### ◎悩みを整理して解決策に近づくヒントを探そう。

・それぞれが自分なりに整理した悩みを出し合い、思い当たることについて共感したり、問題を解決した経験のある友の意見から新たなアイデアをもらったりしましょう。

・意見交換から自分にも取り入れられるような取組を決め出しましょう。

